



地域活性化

鹿児島県霧島市

滞在客に地域の魅力を発信し 旅行中の周遊意欲を刺激する。

タッチパネルで動く4K映像の観光情報案内板

Interview



左:霧島市 市長 中重 真一(なかしげ しんいち)さん
右:商工観光部 観光PR課 課長 宝徳 太(ほうとく ふとし)さん

コロナ禍で打撃を受けた観光業界だが、霧島市ではすでにアフターコロナを見据えた取り組みが始まっている。主要スポットに観光情報案内板を設置し、「映像」で魅力を発信。滞在客に観光情報を提供し、地域周遊を促すという。

霧島市の市長が語る、滞在客に観光情報を届ける意義。

「観光資源がありすぎるのです」と笑うのは、市長の中重さん。広い地域に観光スポットが点在する上、黒酢や焼酎、薩摩切子など特産品も多い。「そうした地域資源の魅力を余すことなく伝えたい。効果的に情報を発信できれば、エリア内での周遊や、「次はここに行きたい」というリピート意欲の喚起につながると考えました。」

そこで導入したのが、液晶モニター法人向け「ブラビア」とタッチパネルを組み合わせた「ソニー」の観光情報案内板だ。同市は温泉郷や霧島神宮、地元グルメなど、12のメニューを用意。画面に触れて選択すると、それぞれのPR動画が流れてくる。また、画面の二次元コードを読み込めば、スポットの詳細情報をスマホに表示することも可能だ。

令和4年10月の「全国和牛能力共進会」をはじめ、11月の「縄文シティサミット」、翌年の「かごしま国体」など、複数の大規模イベントが予定されていたことも導入の後押しに。イベントで訪れる客をそのまま旅行客に、さらにはリピーターにする施策として、

市内各所に7台の観光情報案内板を設置したという。大規模イベントでの活用と、その後の継続的な活用を見込んでいる。

高精細映像による疑似体験が観光客の“旅心”を刺激する。

4K画質の魅力を引き出すには、映像にも高い質が求められる。そこで撮影もオプションで同社に依頼。9日間にわたるロケでは、高解像度のカメラやドローンが駆使され、臨場感あふれるオリジナル映像が完成した。「65インチの大画面で見る高精細映像は素晴らしく、当市の魅力が十分に伝わると確信しました」。映像データの転送はUSBメモリで行うためネットワーク環境は不要、電源さえあれば設置できる。さらに腐食リスクを軽減するため、硫化対策のコーティングを施したモデルを導入するなど、温泉地対策にも抜かりがない。

イベント会場で実際に操作する来場者の様子を見て、担当の宝徳さんも手応えを感じたようだ。「紙のパンフレットだけでは限界がありますが、映像と二次元コードの組み合わせは今の時代に合っていると感



共進会会場のPRブースに観光情報案内板を設置。

す。映像では生産者が顔を出して自らこだわりを語るため、説得力もあります」。

知られざる魅力を発信して、霧島観光の質を上げる。

「空港がある当市は鹿児島の玄関口。通過するだけの人にも観光情報を発信できれば、将来的に観光客の増加を見込めるでしょう」と市長。宝徳さんも「設置したホテルからは、観光コンシェルジュ的な役割を果たすと喜ばれています。従業員が忙しくても、観光客は観光情報案内板から情報を得られるわけです」と効果を感じているようだ。

同市はコロナ禍において様々な観光キャンペーンを実施。修学旅行ではコロナ前の約6倍まで宿泊客数を伸ばしているという。今後も各種事業を実施し、V字回復を目指していく中で、観光情報案内板に期待する役割は何なのか。市長は次のように締めくくってくれた。「観光地としての質を向上させたいのです。そのために、まずは霧島に何があるかを知ってもらうこと。それが観光客の満足度を向上させ、観光地としての魅力を高めてくれると考えています」。

MAP



鹿児島県霧島市
人口 / 124,741人
世帯数 / 62,569世帯
(令和4年11月1日時点)

CHECK

実機を使用するデモも承ります! SONY

自治体の要望を伺い、観光地紹介映像の制作も含めて全体を構築します。資料請求やオンラインでの説明、4K画質を体験できる実機デモも対応しますので、右記の二次元コードよりお問い合わせください。



臨場感あふれる高精細映像が、地域の魅力を効果的に伝える。



パンフレットより魅力が伝わります!

鹿児島空港ビルディング 事業広報課 課長代理 久永 央倫(ひさなが ひさみ)さん

共進会のイベント開催期間に合わせて、観光情報案内板を活用しています。複雑な操作は必要なく、空港スタッフは毎日、電源を入れて消すだけ。4Kの高画質映像で映し出される霧島の風景に見入るお客さまも多く、映像にはパンフレット以上のPR効果があると感じます。パンフレットはかさばるため、画面から二次元コードを読み取って、スマホで情報をもち歩ける点も旅行者には大きなメリットです。

お客さまの中には観光情報案内板を見て、紹介されている観光地について「もっと情報が欲しい」「交通手段を知りたい」と、総合案内所の窓口に来る人も。様々な観光地を紹介するには時間がかかりますが、観光情報案内板のおかげでお客さまの求める情報が明確になり、接客の時短にもつながっています。案内係によるおもてなしやパンフレットと併用しながら、ニーズに合わせてご案内していきたいと考えています。



観光情報案内板を導入するメリット

- 1 4Kの高精細映像による臨場感ある観光PR**
精密で滑らかな大画面映像が、パンフレットやWEBにはない臨場感演出。撮影時にドローンを活用すれば、地上からは見ることのできない魅力を提供できる。地域に眠る観光資源を新たな視点で発信する。
- 2 旅行中の観光客に周遊を促す**
旅行中の情報収集に役立つよう、観光地やホテルなどに分散して設置。観光情報案内板のターゲットはまさに今、地域にいる滞在客だ。ガイドブックにはない観光資源の情報を提供することで、市内での周遊を促す。
- 3 地域ファンとリピーターの獲得を目指す**
空港など、市の玄関口にも設置することで、観光客だけでなくイベント客やビジネス客にもアピール。積極的に観光情報を取りにいかない層にも、魅力的な映像により「次はここを見たい」と再訪意欲をもってもらおう。

観光資源を最大限に活かす霧島市の設置スキーム

エリア内の主要箇所に設置し周遊を促す

- 高精細映像で伝わる魅力
- 二次元コードで詳細情報を取得
- 外国人向け多言語対応可
- スポットの差し替えも可能

鹿児島市 (国指定重要文化財)
Kagoshima-jingu Shrine (National Important Cultural Property)

お問い合わせ

ソニーマーケティング株式会社
法人のお客様向け購入相談窓口

☎0120-30-1260

〒141-0001 東京都品川区北品川5-11-3
https://www.sony.jp/biz/inquiry/form_simple.html

掲載サービスの詳細はこちら▶

PR

地域活性化